

What's NEW

子どもの遊び



品川区教育委員会教育委員 海沼 マリ子

今の子どもたちが公園等で遊んでいる姿を見ていると、同じくらいの年齢の友達同士で遊んでいる事が多いようです。もちろんそれは悪い事ではありませんが、異なる年齢の子どもと遊ぶことも、時には大事なと思います。上の学年の子が下の学年の子に遊びを教えるなどすることで、社会性や協調性、またはルールづくり等を学んでいけるのではないのでしょうか。

なかなか簡単なことではないかもしれませんが、子どもたちには幅広い年齢の友達と、公園・広場等でのびのび遊んでほしいものです。最近の子どもたちは昔と比べて外で遊ぶ時間そのものが減っているという問題もあるかと思えます。毎日のように塾や習い事に通わなければならない、なかなか遊ぶ時間がもてない子どもも多いでしょう。遊ぶにしても楽しいゲーム等がたくさんあつて、外で走り回って遊ぶような機会が少なくなっています。安心して遊べる場所が少なくなっていることも原因かもしれません。

その中で安全・安心に遊んでもらうためには、地域の中で大人たちが連携して子どもたちを見守ると同時に、地域と学校が連携していく必要があると考えます。品川区では、「地域とともにある学校づくり」を目指しており、学校の運営や支援活動を地域の方が担っていく「品川コミュニティ・スクール」を展開しています。これから、学校と地域が今まで以上に連携し、子どもたちを支えていくようになると思われます。地域が子どもを育てるといふことでは、すでに各町会や地区委員会等で子ども向けの事業を多く行っています。バスツアーや七夕まつり、餅つき大会など各地域で様々な行事が行われていますので、保護者の皆様も地域の町会等がどのような活動をしているか、是非確認していただければと思います。そして、子どもたちには積極的にこういった活動に参加して、周りの子どもや大人とのコミュニケーションづくりをしてほしいと思います。

「子どもは風の子元気な子」と昔から言われるように、体力作りのためにも大いに戸外で遊んでもらうとともに、私達大人は次世代を担う子どもたちをしっかり見守っていければと思います。





オリンピック・パラリンピック教育「ようい、ドン！」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開幕まで約1200日となりました。

本区においては、すでに全区立学校・幼稚園で、「オリンピック・パラリンピックの精神」、「スポーツ」、「文化」、「環境」の4つのテーマに、「学ぶ」、「観る」、「する」、「支える」の4つのアクションを組み合わせた取組を行っています。

品川区3 競技応援マスコット		
シナカモン	ビーチユウ	やたたま
ホッケー	ビーチバレーボール	ブラインドサッカー

各学校・園では、オリンピック・パラリンピック教育を通して、子どもたちに「おもてなし」「障害者理解」「スポーツ志向」「和の心」「国際的な視野」の5つの資質を重点的に育てています。

平成28年12月には、全校が、東京2020組織委員会から、「オリンピック・パラリンピック教育実施校」(愛称「ようい、ドン！スクール」)の認証を受けました。

東京2020大会を通して、子どもたち一人一人の心と体にかけてえのないレガシーを残すことができるよう、引き続き、計画的・継続的にオリンピック・パラリンピック教育を推進していきます。

なお、東京都のオリンピック・パラリンピック学習読本に加え、本年4月には、5年生以上の全児童・生徒に、品川区独自教材を配布し、各学校での活用を図ります。

オリンピック・パラリンピックの精神 × 学ぶ



パラリンピアンとの交流 (台場小学校)

都の学習読本やDVDを活用して学んだり、オリンピックやパラリンピアンを学校に招いて話を聞いたりすることで、自分の在り方や生き方を考えるきっかけとしています。

スポーツ × 観る・する



ホッケー体験教室 (富士見台中学校)

平成28年度から4年間かけて区内開催競技、応援競技の体験教室を各校で実施します。体験を通して、競技への興味・関心を高めるとともに、体を動かす楽しさを学んでいきます。

4つのテーマ	
オリンピック・パラリンピックの精神	スポーツ
文化	環境

4つのアクション	
学 ぶ	観 る
す る	支 える

文化 × する



ザンビア大使館との交流 (第四日野小学校、グローバル給食)

「世界ともだちプロジェクト」では、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することを目指しています。区内の大使館や領事館、姉妹都市や友好都市との交流も一層促進していきます。

環境 × 支える



花街道での菜の花の種まき (鮫浜小学校)

環境を支える活動は、大会ボランティアにつながる取組の一つです。清掃活動や花壇づくりなど地域に根差した学校での学びが、東京2020大会にも生かされます。

平成28年度	平成29年度	平成30年度
日野園 伊藤学 八潮学 荻原学 品葉学 豊葉学 鮫浜学 浜川学 伊藤学 鈴大原学 上神学 浜川学 ケ森学 富士台学	城南小 浅間小 御殿小 城第一小 第三日野小 山中場小 延山小 小源第二延山小 旗台小 清水第五原第六	三木小 水日小 四井小 大立会 京陽山 延前地 宮越山 後海台 戸小東中 大荻原越

進んでいます！
品川コミュニティ・スクール

●今後、全区立学校で実施

区では、平成28年度より区立小学校6校、中学校3校、義務教育学校6校を品川コミュニティ・スクールに指定しました。

平成30年度までに、全区立学校を品川コミュニティ・スクールに指定する予定です。(左表のとおり)

品川コミュニティ・スクールは校区教育協働委員会と学校支援地域本部から成り、学校地域コーディネーターが2つの組織をつないでいます。

校区教育協働委員会

地域の子どもの成長を学校だけでなく地域全体で支えていただくためには、地域の方の協力が重要です。

本委員会では、地域の子どもの学力向上や豊かな人間性の育成を図るため、児童・生徒アンケートや学力定着度調査の結果などを踏まえ、自校の課題を見出し、熟議を通してそれを解決するための方策を練っています。



浜川中学校・浜川小学校・鮫浜小学校 校区教育協働委員会の様子

学校支援地域本部

学校支援ボランティアによる今年度の学校支援活動を紹介します。

学習支援



【地域未来塾】
放課後等に行う補習教室
八潮学園における
大学生による学習支援

授業支援

「町たんけん」お仕事体験「職場体験」などでは、学校地域コーディネーターが地域の方々と事前に打ち合わせを行っています。また、「商店街見学」の引率補助や家庭科のミッションがけなど、様々な形で授業支援を行っています。



伊藤小学校で行われた「商店街見学」の引率

環境整備

学校の花壇の手入れや、図書館の蔵書の整理、校内の掲示などを行っています。



荻原平塚学園での品川カブ栽培支援



鈴ヶ森中学校の花壇作り

その他

学校が主催するお祭りへの支援、部活動支援、学校行事補助、読み聞かせなど、多様な取組を行っています。



伊藤学園での読み聞かせ



上神明小学校でのぶどう祭り

※各校の実態に応じて、学校支援を行っています。専門的な知識が必要な支援だけでなく、どなたでも気軽に御参加いただける支援もあります。詳細は各校の学校地域コーディネーターにお問い合わせください。